

図書館での食ビジネス支援サービスについて

星野 詠子

長岡市立互尊文庫

(指定管理者 株式会社図書館流通センター)

1. はじめに

新型コロナウイルス（以下、コロナ）の感染拡大により、多くの企業が打撃を受ける中、特に影響を受けている産業の一つが外食産業ではないだろうか。一般社団法人日本フードサービス協会の「外食産業市場動向調査 令和3年(2021年)年間結果報告」⁽¹⁾によると、2021年の外食産業の全体売上高は、コロナ感染拡大前の2019年比では16.8%減少している。テイクアウト利用が多いという業態の強みを生かし、2019年比1.8%増加したファーストフードのように、好調を維持した業態はあるものの、酒類の提供などの営業制限の影響が大きかったパブ・居酒屋では、2019年比72.8%減少となっており、コロナ禍が外食産業全体へ及ぼしたものは大きい。

2022年3月22日現在では、全国各地のまん延防止等重点措置が解除されており、3回目のワクチン接種が進んでいる。今後終息へ向かっていくことを願いながら、地域産業の活性化のために、図書館としてできることを行っていきたい。

そこで考えたのが、コロナ禍で大打撃を受けた飲食業のための支援である。世代を問わず、すべての人の生活に共通する「食」は、ただ身体の機能維持に必要なだけでなく、生活を豊かにしてくれる、私たちに欠かせないものである。本レポートでは、「食」を通じた豊かな時間を提供してくれる飲食業に携わる方々のために、図書館で行う食ビジネス支援サービスについて考察したい。

2. 長岡市と長岡市立互尊文庫の現状と課題

2-1 現状

長岡市立互尊文庫（以下、互尊文庫）は、1918年に長岡市で最初に開館した公共図書館である。JR長岡駅から徒歩10分の位置にあり、交通アクセスがよいため、通勤・通学途中で利用する人も多くいる。また、駅から西へ延びるメインストリート・大手通商店街⁽²⁾からもほど近い地域にある。1987年に長岡市立中央図書館（以下、中央図書館）が長岡市の本館として開館して以降は、市内に7つある地域図書館のひとつとして市民に親しまれている。107席（※現在はコロナ対策のため、半数の54席）の広い学習室をもつのが特徴で、学生の利用も多い。なお、7つの地域図書館については、2008年より株式会社図書館流通センターが指定管理者として管理・運営を行っている。

中央図書館では2013年度より本格的にビジネス支援サービスを開始し、コーナー設置や

外部データベースによる情報提供を行うほか、ビジネス支援セミナーを開催するなどしているが、互尊文庫では専用のコーナー設置はなく、要望に応じて資料の取り寄せやレファレンスに対応するのみ。現状、互尊文庫では、ビジネス支援はほぼ機能していないという状況にある。

また、現在、長岡市では長岡駅周辺の手通坂之上町地区市街地の再開発事業を進めており、2023年夏に先行オープンする地方創生の拠点「米百俵プレイス ミライエ長岡」⁽³⁾（以下、ミライエ長岡）内に互尊文庫の機能を移転した新図書館が開館する予定である。

長岡市では『第2期長岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略／人口ビジョン～長岡リジェネレーション～長岡若返り戦略』⁽⁴⁾の施策のひとつに起業・創業支援をあげており、新図書館は、起業・創業・経営支援などの産業振興をはじめ、市民の豊かな暮らし方、働き方を応援する、課題解決型・知的サポート型図書館と位置付けられている。

2-2 課題

互尊文庫近隣の大手通商店街は、かつては多くの小売店や百貨店が並ぶ、賑わいある商店街だったが、郊外の大型店出店にともない、近年では客足が減少している。さらにコロナ禍により、飲食店の休業・廃業も多くある。

しかし、周辺にはアリーナ、屋根付き広場、市役所が一体となった複合施設「シティホールプラザ アオーレ長岡」⁽⁵⁾などの市の関連施設や、銀行、ホテルなどがあり、これらの施設で働く人々が多い地域でもあるため、日中に滞在する人は多いはずである。だが、図書館利用者は高齢者や学習室利用の学生が多く、ビジネスパーソンは夕方帰宅する際の予約資料の受け取りが主。新図書館ではビジネス支援を大きく掲げているものの、前述の通り、現在の互尊文庫ではビジネス支援がほぼ機能しておらず、図書館にはビジネスに役立つ資料が多くあることが認識されていない。そのため、まずはコーナー設置等、利用者が情報を入手しやすいよう、資料整理を行う必要がある。

また、今後ミライエ長岡がオープンし、施設利用が増えると、近隣の飲食店の利用も増えると思われる。そこで、飲食店を支援するための取り組みが一層必要となる。

3. 事業案

ビジネス支援資料コーナーを設け、サービスを行っていることを明確に示した後は、食ビジネスに特化したサービスを行いたい。具体的には、「食ビジネス支援資料コーナーの設置」、「パスファインダーの作成」、「起業相談会の実施」、「起業・経営セミナーの実施」、「まちゼミ支援サービスの実施」「食の専門図書館との連携」等を検討している。

なお、本事業の対象は、市内で飲食業に携わる人、あるいは今後就業したいと考えている人、市内での飲食店の起業を目指す人、現在飲食店を経営しており、経営改善をしたいと考えている人である。各事業の詳細は次に述べる。

3-1 食ビジネス支援資料コーナーの設置

飲食業に携わる人のための資料を集めたコーナーを設ける。飲食店の経営、接客、サービスに関する本を集め、これまで一般書架に配架されていた資料の中から、プロ向けにも使用できる食材、料理の本を移動するほか、新たに料理の専門書や、『専門料理』（柴田書店）、『飲食店経営』（アール・アイ・シー）などの専門雑誌を購入し、設置する。

また、独自資料として市内飲食店のメニューを収集し、リスト化した「メニューブック」を作成・所蔵する。店舗の写真や食品サンプルとともに展示し、メニュー開発等に役立ててもらう。

その他、「働きやすい職場を作るには」（職場環境、スタッフ育成法の本）、「旬のメニューの見せ方、作り方」（旬の食材を使ったメニュー作り、PR法の本）など、食ビジネスのテーマコーナーを作る。月1回など、定期的に展示の入替を行うことで、飲食店の課題に対応した情報を提供できるものとする。

3-2 パスファインダーの作成

飲食業向けのパスファインダーとして、「コーヒーを極める」（コーヒー豆の選び方、淹れ方、お菓子との組み合わせ事例などの本）、「長岡野菜を使いこなす」（地元の特産の野菜の調理法、栽培法の本など）等を作成する。なお、パスファインダーには後述する起業相談会やセミナーの案内が見られるQRコードを掲載する。

その他、特徴的なものとして、飲食店を開業するための資料や情報を開業までのステップを追って紹介する、起業支援のためのパスファインダーを作成する。想定しているタイトルは下記のとおり。

- ① 起業を考えたら（起業の手続きの本の他、起業相談会の案内を掲載）
- ② 市場調査をするには（マーケティングの本、統計資料の他、データベース等を紹介）
- ③ 事業計画を立てるには（事業計画の作り方の本の他、各種支援機関や起業相談会の案内を掲載）
- ④ 営業許可のイロハ（営業許可申請のための本、開業ガイド等）
- ⑤ 融資を受けるには（資金貸付の本、業種別審査事典等）
- ⑥ 店舗の契約・工事（借地・借家の取引の本、店舗設計マニュアル等）
- ⑦ 開業後のお金のお話（簿記、決算書の読み方の本等）
- ⑧ 開業後の人事・労務（人事、労務、税務の本等）
- ⑨ 仕入れとメニュー作り（業界情報の本、食材のデータ集、料理のレシピ本等）
- ⑩ PR法を学ぶ（POPやチラシの作成法の本、ホームページ制作の本等）

3-3 起業相談会の実施

新潟県中小企業診断士協会⁽⁶⁾、日本政策金融公庫⁽⁷⁾、新潟県起業支援センター CLIP 長岡⁽⁸⁾（以下、CLP 長岡）等と連携し、月1回、起業相談会を開催する。

CLIP 長岡は、市内で起業したい人、あるいは起業している人を応援する相談・支援センターで、同施設でも相談会を行っているが、日常的に図書館を利用している方々にとっては、図書館という身近な場所で相談会を行うことで気軽に参加でき、利用しやすいのではないかとと思われる。また、事前申込時に相談内容を伺い、当日には内容に対応した資料を用意しておくなど、図書館の強みである豊富な蔵書を生かすこともできる。

3-4 起業・経営セミナーの実施

CLIP 長岡や、長岡商工会議所⁽⁹⁾、ながおか・若者・しごと機構⁽¹⁰⁾、NaDec BASE⁽¹¹⁾等と連携し、年3回程度、起業・経営セミナーを開催する。

ながおか・若者・しごと機構は、若者同士の交流や学ぶ・働く魅力の創出、アイデア実現を行う機構で、さまざまなイベントを行っている。NaDec BASE は市内の4大学1高専、企業、行政がイノベーションを起こすための拠点で、新規事業を立ち上げるための講座なども開催している。

これらの団体の協力のもと、市内で飲食店を開業した人を招き、体験談を伺うセミナーや、飲食店の運営方法、魅力あるメニュー作りのセミナーなどを開催することで、これから飲食店を起業する人や、現在、飲食店を経営している人たちを支援したい。なお、事前にイベントの案内チラシを設置する際に関連資料のコーナーを設け、参加を促進する。また、当日は会場内で資料を閲覧できるようにしておき、資料の利用にもつなげたい。

3-5 まちゼミ支援サービスの実施

長岡まちゼミ実行委員会⁽¹²⁾（長岡市商店街連合会⁽¹³⁾内）主催で毎年実施している「まちゼミ」に講師として参加する飲食店向けに、講座開催のための支援を行う。図書館でまちゼミの講座をサポートしていることをPRするチラシを作成し、配布する。なお、チラシには資料やデータベースを使って情報収集を行う方法なども記載する。また、講座が決定した後は、関連資料コーナー、ブックリストの配布を行い、講座の参加者向けの情報提供も行い、まちゼミをPRする。

※現在は中央図書館にてまちゼミ参加者のための参考資料のコーナーを設置し、ブックリストを作成している。

3-6 食の専門図書館との連携

食の文化ライブラリー⁽¹⁴⁾、本間文庫にいがた食の図書館⁽¹⁵⁾などの食の専門図書館と連携し、自館に所蔵のない資料の情報提供に協力していただくことで、さまざまなレファレンスに対応する。

4. 事業の目的と効果

3に述べた事業を行う目的は長岡市の飲食業を活性化させ、まちに賑わいを創出することである。図書館の強みである整理された豊富な資料や情報を提供することと、産業支援機関と連携し、図書館が窓口となって専門の相談スタッフによるサービスを行うことで、利用者は容易に情報を入手することができ、起業や就業へのハードルが低くなる。

市への効果としては、飲食店を起業する人、就業する人が増えることで飲食業が活性化し、しいては食材の生産者、飲食店の運営に関わる業種の活性化にもつながることがあげられる。図書館への効果としては、図書館がビジネスの課題に役立つ場所であるという認識が生まれ、利用が増えることがあげられる。

5. おわりに

第21回ビジネス・ライブラリアン講習会を受講し、全国の図書館のさまざまな取り組みを知ることができた。また、実現のためにはどのような課題があるのか、具体的な手法にはどのようなものがあるのかなど、多くのことを学び、自身が今後サービスを行っていくにあたっての指針を得ることができた。

「何のために図書館が存在するのか」、「誰のための図書館か」という問いを突き詰めて考えていかなければならないと小林隆志講師の言葉を受けて強く感じたのが、図書館は地域のためにあり、地域で働く人、暮らす人の助けになりたいということ。その取り組み事例として今回は食ビジネス支援サービスを行いたいと考えたが、他にも課題はまだある。これからも地域の人々の声に耳を傾け、課題解決に取り組んでいきたい。

また、Zoomを利用してのグループワークは、実施前は画面越しの話し合いできちんとコミュニケーションが取れるのだろうかという不安があったが、実際に始めてみると、そんな心配は無用で、活発な意見交換ができたとても有意義な時間だった。本レポートでまとめた食ビジネス支援サービスはグループワーク内で提案したものを改めて考察したものである。班の代表案は他の企画に決定したが、「食のビジネス支援サービスは面白い」、「広報を工夫するともっとよくなる」、「起業した後も継続して支援していくことが大事」など、さまざまな意見をいただき、これをビジネス支援サービスの柱にしてはどうかと考えることができた。自身の考えを深め、企画案を作ることができたのは、3班の皆さんと、アドバイザーを務めてくださった豊山講師によるものが大きい。今回は受講生の皆さんに直接対面することはかなわなかったが、コロナが終息した折にはぜひ、それぞれの所属図書館を訪ねたい。また、学んだことを今後の図書館業務に生かすとともに、常に学び続けることを忘れず、ビジネス支援サービスを行っていきたい。

【注】

- (1) 一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査 令和3年(2021年)年間結果報告」(2022年1月25日)
(<https://www.jfnet.or.jp/files/nenkandata-2021.pdf>)
- (2) 「大手通商店街」整備されたアーケード沿いに店舗や行政サービス施設が立ち並ぶ商店街 (<http://otedori.jp>)
- (3) 「米百俵プレイス ミライエ長岡」 人づくりと産業振興を総がかりで支える地方創成の拠点 (<https://miraie-nagaoka.jp>)
- (4) 『第2期長岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略／人口ビジョン～長岡リジュベネーション～長岡若返り戦略』長岡市 2020年3月
(<https://www.city.nagaoka.niigata.jp/shisei/cate11/senryaku/file/rejuvenation-01.pdf>)
- (5) 「シティホールプラザ アオーレ長岡」5,000人を収容できるアリーナ、開放感のあるナカドマ(屋根付き広場)、市役所が一体となった複合型施設。市民協同と交流の拠点として、さまざまな活動の舞台となっている(<https://ao-re.jp>)
- (6) 「一般社団法人新潟県中小企業診断士協会」 (<https://www.n-smeca.jp>)
- (7) 「日本政策金融公庫」(<https://www.jfc.go.jp>)
- (8) 「一般社団法人新潟県起業支援センター CLIP 長岡」市内で起業したい人、あるいは起業している人を応援する相談・支援センター (<https://www.kigyousien.or.jp>)
- (9) 「長岡商工会議所」 (<https://www.nagaokacci.or.jp>)
- (10) 「ながおか・若者・しごと機構」若者同士の交流や学ぶ・働く魅力を創出し、アイデア実現を推進する機構 (<https://n-wakamonokikou.net/>)
- (11) 「NaDec BASE」市内の4大学1高専、企業、行政がイノベーションを起こすための拠点 (<https://www.nadec-base.jp>)
- (12) 「長岡まちゼミ実行委員会」(<https://nagaoka-machizemi.com>)
- (13) 「長岡市商店街連合会」(<http://nagaoka-shotengai.jp>)
- (14) 公益財団法人味の素の文化センター「食の文化ライブラリー」食文化に特化した食の専門図書館 (<https://www.syokubunka.or.jp/library/>)
- (15) 「本間文庫にいがた食の図書館」新潟県の食文化研究者・本間伸夫氏の蔵書約1,000冊をはじめとした、食にまつわる本を集めた図書館 (<https://honmabunko.jp>)

【参考資料】

鳥取県立図書館ホームページ

(<https://www.library.pref.tottori.jp>)

札幌市図書・情報館ホームページ

(<https://www.sapporo-community-plaza.jp/library.html>)

新宿区立図書館ホームページ

[\(https://www.library.shinjuku.tokyo.jp\)](https://www.library.shinjuku.tokyo.jp)

調布市立図書館ホームページ

[\(https://www.lib.city.chofu.tokyo.jp\)](https://www.lib.city.chofu.tokyo.jp)